

計画の名称	1 8 京奈和自動車道のICアクセス向上によるネットワーク形成及び関西広域連携機能強化													
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度 (5年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	和歌山県													
計画の目標	関西大環状道路の一部を形成する京奈和自動車道の整備に合わせ、高速道路ICにアクセスする府県間道路等を整備することで広域ネットワークの形成を図り、物流の効率化による都市・地域の立地競争力の強化を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		900	A	900	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30末）	（H33末）	（H35末）
1	ICアクセスに係る時間の短縮を図り、ネットワークの機能を向上させる			
	ICへのアクセス時間短縮率 〔ICへのアクセス時間短縮率（％）〕＝{Σ〔要素事業の現道での所要時間（分）〕－Σ〔要素事業供用による所要時間（分）〕} / Σ〔要素事業の現道での所要時間（分）〕	0%	17%	17%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	国道	改築	（国）３７１号 仮称新 紀見トンネル（18-A-3）	バイパス整備 L=1.0km	橋本市	■	■				900		-
											小計						900		
											合計						900		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
和歌山県県土整備部にて評価	令和7年度
	公表の方法
	和歌山県ホームページにて公開
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和3年度より他の社会資本総合整備計画に移行したため、目標値を達成できなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
未完成の事業については、引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、高速道路ICにアクセスする府県間道路等を整備することで広域ネットワークの形成を図り、物流の効率化による都市・地域の立地競争力の強化を目指す。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	ICへのアクセス時間短縮率		
	最 終 目標値	17%	令和3年度より他の社会資本総合整備計画に移行したため、目標値を達成できなかった。
	最 終 実績値	0%	